

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

1 基本情報

令和2年3月31日時点

公の施設名	相模女子大学グリーンホール(相模原市文化会館)、相模原南市民ホール、小田急相模原駅文化交流プラザ
指定管理者名	公益財団法人 相模原市民文化財団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
施設設置条例	相模原市立文化会館条例、相模原市立市民会館条例、相模原市立小田急相模原駅文化交流プラザ条例
施設の設置目的	<p>【文化会館】 市民が芸術文化を鑑賞し、及び文化活動を行う場を提供し、もって文化の香りあふれる都市の創造に寄与するため(相模原市立文化会館条例第2条)</p> <p>【南市民ホール】 市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するため(相模原市立市民会館条例第2条)</p> <p>【小田急相模原駅文化交流プラザ】 市民が行なう参加、体験型等の多様な文化、交流活動などを通して、市民の文化の向上及び相互交流の促進に寄与するため(相模原市立小田急相模原駅文化交流プラザ条例第2条)</p>
施設概要	<p>【文化会館】 ・所在地 相模原市南区相模大野4-4-1 ・敷地面積 9,842.90㎡ ・延床面積 文化会館14,725.99㎡ 図書館3,723.92㎡ メディカルセンター3,787.82㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 ・主な施設 1～4階 大ホール(1,790席または1,240席として利用可) 2階 多目的ホール(可変床 移動席240席) 地下1階 リハーサル室、練習室</p> <p>【南市民ホール】 ・所在地 相模原市南区相模大野5-31-1 ・敷地面積 7,596.61㎡ ・ホール延床面積 1,476.68㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階(うちホール部分1～3階の一部) ・主な施設 ホール(400席)</p> <p>【小田急相模原駅文化交流プラザ】 ・所在地 相模原市南区南台3-20-1 ・敷地面積 5,278.58㎡ ・延床面積 888.11㎡(うち文化交流プラザ専有面積489.73㎡) ・構造 鉄筋コンクリート造 地下3階地上4階(うち文化交流プラザ部分は4階) ・主な施設 多目的ルーム、ミーティングルーム1・2</p>
施設所管課	文化振興課

2 管理実績

令和2年3月31日時点

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	503,306	490,163	385,569				
利用料金合計(円)	178,153,081	173,602,098	145,879,981				

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	<p>指標1及び指標2の平均達成度が94%と目標に達しなかったことからB評価とする。企画提案事業については、「とても満足」と回答した方の割合が目標値及び前年度実績を下回る結果となったが、「とても満足」、「満足」と回答した方の割合は98%を超えており、全体的な満足度は高いと言える。平均利用率については、目標値を下回ったが、前年度実績を上回り、利用率が向上した。</p> <p>【委員会意見】 文化会館では一流演奏家の起用やバランスのよいプログラム構成で集客を獲得するとともに、大ホールならではの見応えのあるミュージカルや伝統芸能公演が数多く提供されている。南市民ホール、おださがプラザでは、親しみやすい事業や市民参加型事業が展開され、多様な市民ニーズに応える多彩な事業が高い満足度に繋がっている。 平均利用率についても目標を下回るものの、目標に近い数値になっている。文化会館大ホールは大型舞台芸術に対応するホールとして十分機能するとともに、学校利用も多く、芸術活動の場としても活用されている。南市民ホール、おださがプラザは市民生活に身近な施設として、市民自らが活動する場として重要な役割を果たしている。</p>

指標1							
指標名(単位)	企画提案文化事業来場者の満足度						
指標式と指標の説明	指定管理者の企画提案で行う文化事業の来場者の満足度(「指定管理者が行う業務の詳細」に定める事業において回収された来場者アンケートのうち、最も高い満足度を回答した方の割合)を成果指標とする。						
項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	76.4	72.9	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
実績値(単位)	72.9	77.0	68.6				
達成度(%)	95.4%	105.6%	90.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(参考) 2番目に高い満足度を含めた場合(とても満足 + 満足)

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値(単位)	98.3	98.3	98.5				

指標2							
指標名(単位)	相模原市文化会館(大ホール及び多目的ホール)、相模原南市民ホール、小田急相模原駅文化交流プラザ(多目的ルーム)の平均利用率						
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、(利用日数・利用可能日数)にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。						
項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	91.5	91.5	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
実績値(単位)	88.7	88.6	89.9				
達成度(%)	96.9%	96.8%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>市の指定する事業数は年間19回だが、令和元年度は新型コロナウイルスの影響で中止になったものを除いても46回実施しており、規定回数を大きく上回っている。事業内容も施設や地域の特性を踏まえながら、芸術性の高いコンサートや演劇から市民ニーズの高い軽音楽まで多角的に実施している。</p> <p>【委員会意見】 新型コロナウイルスの影響で中止となった公演を除いても規定回数以上の事業を実施するとともに、多角的で質の高い公演が多く実施されている。文化会館では、オーケストラを核とした音楽事業を継続的に実施してきたことで、ハイレベルな演奏会が定着し、芸術創造発信がなされている。本年の重点的取組である「子どもたちに向けた取組」においても、普及育成型の「夏休みコンサート」、「相模原ジュニアオーケストラ」といった音楽事業を実施し、オーケストラを軸とした明確な企画構成がされている。大ホールならではの見応えがある一流のミュージカル公演や伝統芸能から市民の文化活動支援まで、市民のための劇場として十分な事業成果を発揮している。市内大学やJAXAとの連携事業も市のシビックプライド向上に繋がる有意義な事業である。 南市民ホール、おださがプラザでは、市民密着型ホールとして普及育成事業に重点を置いて取り組んでいる。特に「演劇ワークショップ」や「中学生のための舞台技術ワークショップ」は高く評価できる。</p>

市が指定する事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
各施設の規模及び地域性を生かし、伝統文化や優れた芸術作品を鑑賞する機会を市民へ提供する舞台芸術公演事業			
劇団四季ファミリーミュージカル 『カモメに飛ぶことを教えた猫』	4月20日(土)	演劇舞踊 大ホール 1回 1,700名	
さがプロ2020文化事業 フラメンコワークショップ <全6回>(共催)	5月10日(金) 5月21日(火) 5月28日(火) 6月7日(金) 6月13日(木) 6月25日(火)	演劇舞踊 多目的ルーム 6回 8名、11名、11名、8名、9名、8名	
宝塚歌劇 星組全国ツアー 相模原公演 ミュージカル・ロマン 『アルジェの男』 スーパー・レビュー 『ESTRELLAS(エストレージャス)～星たち～』	5月11日(土)	演劇舞踊 大ホール 4回 1,752名、1,770名、1,717名、1,721名	
	5月12日(日)		
さだまさしコンサートツアー2019 ～新自分風土記～	5月21日(火)	軽音楽 大ホール 1回 1,702名	
平原綾香 CONCERT TOUR 2019 ～幸せのありか～	6月22日(土)	軽音楽 大ホール 1回 1,200名	
日本フィルハーモニー交響楽団 第13回相模原定期演奏会	6月23日(日)	クラシック 大ホール 1回 1,485名	
第45回日本フィル夏休みコンサート 2019	7月20日(土)	クラシック 大ホール 1回 1,429名	
劇団四季『エビータ』	8月25日(日)	演劇舞踊 大ホール 1回 1,710名	
Mariko Takahashi Concert vol.43 2019 MariCovers	9月3日(火)	軽音楽 大ホール 1回 1,674名	
相模原音楽家連盟コンサート 19 サン=サーンスの生涯	9月16日(月)	クラシック 多目的ホール 1回 251名	
日本フィルハーモニー交響楽団 第14回相模原定期演奏会	9月29日(日)	クラシック 大ホール 1回 1,451名	

鼓童 ワン・アース・ツアー2019「道」	12月8日(日)	伝統芸能 大ホール 1回 1,426名	
クラシックを楽しむコンサート 熊谷真紀 ヴァイオリン・リサイタル	1月17日(金)	クラシック 多目的ホール 1回 232名	
在日米陸軍軍楽隊コンサート	1月29日(水)	軽音楽 ホール 1回 337名	
【開催中止】 クラシックを楽しむコンサート 中川理子ヴァイオリン・リサイタル	2月28日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止	
市民自らが芸術文化活動に参加し、相互に交流できる機会を提供するなどの市民の自主的な活動の支援に関する事業			
相模原ジュニア・オーケストラ	9月1日(日)	軽音楽 大ホール 1回 783名	

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
自動販売機設置	4月から1年	・文化会館...6台 ・南市民ホール...1台 ・文化交流プラザ...1台	

5 利用者の満足度

令和2年3月31日時点

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>施設利用者の満足度は、標値及び前年度実績を超え、99.3%となった。「よい」と回答した方の割合だけでも90%を上回っており、施設の管理、清掃が適切に行われるとともに、運営ノウハウが蓄積されていると評価する。</p> <p>【委員会意見】 利用者アンケートでは、3館ともに「客席・ロビーの状態」「舞台・器具等の状態」「スタッフの対応」の3項目が高く評価されており、利用対応や設備維持管理業務が的確に実施されていること、利用者の安全が確保され、安心感をもって利用されていることがわかる。指定管理者が市民サービス第一という理念を共有して日頃の管理運営に取り組んだ成果が出ている。</p>

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	施設利用者に対するアンケートの実施
目標値の基準	5段階評価のうち、「とてもよい」、「よい」、「ふつう」と回答した方の割合の合計

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値(%)	94.6	96.5	99.3				
達成度(%)	105.1%	107.2%	110.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	施設にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については会議で共有を図り、対応に努めている。
HP お問い合わせフォーム	通年	施設のHPにお問い合わせフォームを設置し、利用者の方が質問や相談をしやすいような取り組みを行っている。

6 施設の経営状況

令和2年3月31日時点

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	<p>令和元年度は、新型コロナウイルスの影響で施設の利用が減少したことにより、全体収支、本体事業がともに赤字となっている。指定管理者本体の経営状況に特段の課題はないことから、B評価とする。</p> <p>【委員会意見】 本体事業収支、自主事業ともに赤字となっている。指定管理者本体の財務・経営状況については、前期比正味財産のマイナス幅は増加しているものの、期末正味財産は潤沢で直ちに財務上の懸念となるものではない。現時点で経営状況に特段の課題はないが、令和2年4月以降の新型コロナウイルスの影響に留意する必要がある。</p>

施設の収支概要		直近3年間について記載 (千円)		
項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収入 (a)	505,399	490,903	491,748	
指定管理料	249,627	249,798	295,286	
利用料金収入	178,153	173,602	145,880	
その他の収入	77,619	67,503	50,582	
支出 (b)	492,975	490,799	507,705	
人件費	103,296	104,151	99,760	
本社管理経費			14,458	
その他の支出	389,180	386,648	393,486	
本体事業収支 [(a)-(b)](c)	12,424	104	-15,957	
自主事業収入 (d)			2,490	
自主事業支出 (e)			263	
自主事業収支 [(d)-(e)](f)	0	0	2,227	
全体収支 [(c)+(f)]	12,424	104	-13,730	
備考	令和元年度指定管理料に、文化会館改修に伴う利用休止補償額13,880千円 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う損失補償額14,249千円は未計上			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和2年10月14日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

施設の設置目的や、条例等を十分に理解し、適切な施設利用事務を行い、施設の催し物の情報や空き日の情報をホームページで公開するなど利用者増加に努め、これまで同様に多くの方に利用いただいている。また、施設や設備を保つために日常管理を行うとともに、定期点検を計画的に実施し、安全な施設を維持することができている。

当該年度の2月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、事業の中止が相次ぎ、3/2からは施設を休止することとなったが、利用者への周知に努め還付事務を適切に行った。

事業実施にあたっては、施設ごとのミッションを意識し、それぞれの特徴をふまえた事業展開を図ることができた。文化会館においては、日本フィルハーモニー交響楽団、劇団四季、宝塚歌劇などの華やかな鑑賞型事業を実施するとともに、オーディションによって選出された子どもたちが参加する「相模原ジュニア・オーケストラ」公演を行うなど、シティブランドのけん引役となるホールにふさわしい事業を行った。また、南市民ホールでは、文化のすそ野を広げる親しみのある普及型事業を中心に実施し、おださがプラザでは、市民の交流の場となるようワークショップと無料公演を実施するなど、施設ごとに特徴ある事業を実施することができた。

9 所管課意見

・年度末には新型コロナウイルスの影響で急遽施設の休止や事業の中止を行うことになったが、利用者への案内や還付手続き等を円滑に進めている。

・施設利用率は目標値には届かなかったものの、前年度を上回る実績を残しており、適切な施設管理が利用率向上に繋がっていると評価する。

・事業については、協定で定める2倍以上の回数を実施しており、施設の活性化に寄与していると評価する。また、芸術性が高い公演事業についても安定的に集客数を確保しており、長年に渡って管理運営に携わる中で培われた知見を活かし、文化発信拠点としての役割を果たしていると評価する。

10 選考委員会意見

2月から3月末にかけて、新型コロナウイルスの影響を受けたものの、それ以前については利用者の満足度を高め、安定的な集客数を確保し、文化発信拠点としての役割を果たしている。特に、文化会館は相模大野駅という立地から市外からの来館者も多く、市の内外に存在感を示すフラッグシップ館として、市のシティブランド向上に貢献している。グループ全体で見ても、利用率、来館者数、幅広い世代を対象とした多彩で優れた事業の実施等をもって相模原市の豊かな市民文化の形成発展に寄与するなど、高い成果を上げているので、引き続き事業や管理の質を維持するよう努めてほしい。

令和2年4月以降は新型コロナウイルス感染防止対策と集客という難しい課題に直面するため、翌期の事業計画に工夫と対策を反映し、その部分についてもモニタリングを行っていく必要がある。

